



### 「工芸の部」特選

『スカーレット』 所谷由利江(香我美町)

#### ■工芸の部

〔褒状〕(野市町) 西岡健一  
〔入選〕(赤岡町) 明神龍雄・竹村努  
(香我美町) 廣未登・末延久美  
(野市町) 公文雄二・形見法三

## 第14回 香南市美術展覧会

■前期(写真の部) 1月18日(土)~26日(日) ■後期(書道・絵画・工芸の部) 2月22日(土)~3月1日(日)

#### ■審査員(敬称略)

●写真:津野廣幸・門田和夫 ●書道:大野祥雲  
●洋画:入交啓 ●日本画:土居恒夫 ●工芸:西田宣生

会期中、写真の部には522人、書道・絵画の部には303人、工芸の部には264人と、市内外から多くの鑑賞者が来場し、各部門の素晴らしい作品を堪能しました。今月号では特選作品と、入選・入賞された市内在住の方をご紹介します。

■生涯学習課 ☎57-7523



### 「書道の部」特選

『篤』大谷貴恵(野市町)

#### ■書道の部

〔褒状〕(野市町) 長瀬一真  
〔奨励〕(野市町) 片山桃華  
〔新人賞〕(野市町) 山崎桃花  
〔入選〕(野市町) 橋本明子・常光雨汀・森本美紀・寺村真柳・早川睦芳・森玉瑠・岩井純子・満洲龍泉・満洲文泉・吉本薫風・萩野麗・長野春翠・小松智可・葛西美泉  
(夜須町) 中村雅子・佐々木和子・上田夏海

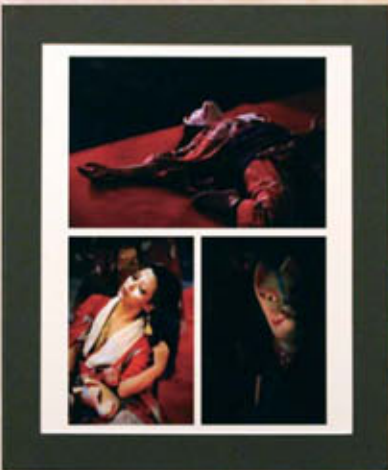


### 「絵画の部(日本画)」特選

『白き花』八木真理子(高知市)

#### ■絵画(日本画)の部

〔褒状〕(野市町) 常石峰子



### 「写真の部」特選

『情炎の舞』 西森文男(高知市)

#### ■写真の部

〔褒状〕(野市町) 島内美智子  
〔奨励〕(香我美町) 別役悦子 (野市町) 野嶋積  
〔入選〕(赤岡町) 川添浩介  
(香我美町) 谷岡賢二・別役多賀子  
(野市町) 川谷秀典・武内巖太田和子・遠山智之・石川利香・岸田昌親・恒石丹・小松昭三・小松昭夫・野村初枝・前中良啓・町田達男  
(夜須町) 清遠久夫 (吉川町) 中澤都志子



### 「絵画の部(洋画)」特選

『アサギマダラ(化身)』島村立法(野市町)

#### ■絵画(洋画)の部

〔褒状〕(野市町) 田村崇  
〔奨励〕(野市町) 北村善子  
〔入選〕(野市町) 荒谷決・濱田亮

# 令和2年度 香南市の重点施策

清藤真司



2月25日から3月24日まで行われた香南市議会定例会で清藤真司市長から令和2年度の施政方針が示されました。

施政方針は、市政運営に対する基本的な考え方や予算案、主要な施策について述べたもので「まちづくりの指針」となるものです。このページでは、その中心となる5つの重点施策について抜粋して紹介します。

■当初予算を18・19ページに掲載しています。

## 施策1 住民自治の確立

まちづくり協議会や自治会の設立と活動支援を積極的に推進し、地域が活性化する取り組みを応援します。

地域活性化総合補助金などで、地域住民が主体となって取り組む活動を支援します。また今年度は、市内で2地区目となる集落活動支援センターを香我美町岸本地区に設立し、地域の課題やニーズに応じた活動に地域の方と一緒に取り組めます。

## 施策2 地震・津波対策

地震・津波から「命を守る対策」に引き続き取り組むとともに、「命をつなぐ対策」の充実を図っていきます。

津波避難タワー、防災情報通信管理システムおよび避難誘導標識などの整備や、住宅の耐震化促進、老朽住宅等の除却、避難所運営体制整備の加速化を継続します。また、新たに指定避難所の環境整備のために耐震性貯水槽、貯留式トイレの整備や吉川漁港海岸の保全施設の整備を行います。

## 施策3 産業の振興

地域産業の持続的な発展を実現するための事業を推進します。

担い手支援事業費補助金、農業後継者推進事業費補助金および実践型研修ハウスの整備など、新規就農者の確保や担い手育成のための支援を継続します。また、新たに雇用の創出と地域経済の活性化を図るために、新たな工業団地の候補地の選定、適地調査のための工業団地の適地調査委託などを行います。

## 施策4 人生支援

人生の始まりから終わりまでをトータルで見守り、支援していきます。

新たな取り組みとして、出産後の初期段階における母子に対する支援を強化するための産婦健康診査事業を加えるなど、ライフステージに応じた支援体制の更なる充実を図ります。また、夜須認定こども園の整備やICTを利用した教育の推進を図るために、児童生徒1人1台端末の整備を行います。

## 施策5 社会基盤の整備

安心安全な市民生活のための社会基盤整備を計画的かつ効果的に推進します。

高規格道路関連周辺整備、道路新設改良、橋梁長寿命化、河川改修事業などを継続して実施します。また、より有効な消防・防災活動を行うために、消防団へ資機材搭載型の小型ポンプ付積載車を導入し、地域の消防力・防災力の向上を図ります。

